

高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～H組

使用教科書：（東京書籍「精選 論理国語」）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】 これまでで身に着けた言語能力の基礎の定着と、応用を身に着け、使いこなすこと。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 言語によって自身の考えを発信し、相手の考えを聞く力の育成。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 言語によるコミュニケーションを図り、他の人との関係を構築すること。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わりようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語・ 聞	書	読					
前期	「いつもそばには本があった」 読書の意義について筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	・教科書 ・現代文単語 ・国語辞典	○	○	○	○	○	○	5
	「ミロのヴィーナス」 具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。	・教科書 ・現代文単語 ・国語辞典	○	○	○	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○	○	○	○	1
	「相手依存の自己規定」 具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。	・教科書 ・現代文単語 ・国語辞典	○	○	○	○	○	○	7
	「科学的「発見」とは」 本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	・教科書 ・現代文単語 ・国語辞典	○	○	○	○	○	○	7
定期考査		○	○	○	○	○	○	1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話 聞	書	読					
後 期	「分人とは何か」 提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。	・教科書 ・現代文単語 ・国語辞典	○	○	○	【知識及び技能】 文章の要約表現や対比、譲歩のかたちなどの接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者が独自に定義した「分人」という概念を、「個人」との違いや具体例をもとに読み取り、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 人間関係に対する考え方を、「分人」という筆者の観点から捉え直し、自分と身近な人間関係について考えを深め、説明しようとしている。	○	○	○	7
	「メディアの変容」 挙げられている事例と筆者の分析の関係に注意して読み、人間関係の在り方について考えを深める。	・教科書 ・現代文単語 ・国語辞典	○	○	○	【知識及び技能】 「近代」「メディア」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中で使われ方を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 近年のネット環境と人間関係への依存度の関連性を、「制度的な枠組み」が強かった時代と比較して読み取り、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 二つの文章の主張を踏まえ、現代の人間関係の在り方について、自分の知識や経験と関連づけながら考えをまとめ、説得力のある説明をしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	「リスク」と「リスク社会」 対比に注意して論の展開をつかみ、「リスク」という概念について理解を深める。	・教科書 ・現代文単語 ・国語辞典	○	○	○	【知識及び技能】 文章の対比構造、具体例や他の言説の引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張と、「リスク」について考察したほかの文章や資料を関連づけて、近代社会における「リスク」について、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえて、「制御可能性が高まっていくこと」による「リスク」が生じる例について、関連する文章やこれまでの知識・経験をもとに、自分の考えを深め、根拠をもって説明しようとしている。	○	○	○	7
	「環境」とは何か 「環世界」などの概念に注意しながら筆者の主張を理解し、環境について理解を深める。	・教科書 ・現代文単語 ・国語辞典	○	○	○	【知識及び技能】 「主体」「二元論」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中で使われ方を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張と、「環境」をテーマにしたほかの文章や資料を関連づけて、「環境」に対する自分の考えを深め、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の理解を踏まえて、持続可能な社会環境を実現するための具体的な取り組みについて自分の意見をまとめ、説得力のある説明をしようとしている。	○	○	○	7
定期考査		○	○	○		○	○	○	1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
後 期	「である」ことと「する」こと 例示と意見の関係を整理して主張を 捉え、変化する社会における人間の 在り方について考える。	・教科書 ・現代文単語 ・国語辞典	○	○	○	【知識及び技能】 「近代」という概念語について、辞書的な意 味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方 を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 「である」社会から「する」社会へ移行する 社会的要因や、「する」価値の浸透落差によ る近代日本の状況を読み取り、説明してい る。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を踏まえて、「である」価値と 「する」価値という観点から自分の身近な出 来事を見直して考えを深め、説明しようと している。	○	○	○	7
	「地図の想像力」 提示されている地図に注目して論の 展開を押さえ、地図に対する筆者の 考えを読み取る。	・教科書 ・現代文単語 ・国語辞典	○	○	○	【知識及び技能】 筆者の地図観について、関連する他の資料 （「図像を読み解くために」）の観点をもと に再検討し、社会や時代と人間の関連性を、 社会的視点から論じていることを理解し、 説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料 を基に、書き手の立場や目的を考えながら、 容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の理解を踏まえて、身近な地図から、描 き手の目的や意図とその工夫を読み解き、自 分の意見をもって話し合い、説得力のある説 明をしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1 合計 72